

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 10 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	要介護の重度化に伴い体調の変化に早期に気づき医療関係者と情報を交換しながら初期対応が出来る。	体調管理に気をつけ利用者の心身の変化に早期に気づき医療関係者と連携をとりながら予防が出来る。	生活を共にするなかで気付きを大切に、またノートに記入することで職員が共有しながら変化を見ていけるよう図る。業務中心でなく個人を見ていけるような勉強会を開き、職員会でも徹底する。利用者の急変時のマニュアルを周知する	12ヶ月
2	49	重度化に伴い外出する機会が少なくなっているため事業所周辺を気候の良い日はほぼ全員が散歩できるよう支援する。	重度で車椅子対応の利用者が体調を考慮しながら天候のよい日は事業所周辺を散歩できるように援助する。	日課として取り入れているが担当者など時間の流れを見直して散歩に行ける時間を確実に取り入れる。また日中の業務を見直し夜間に変更できることは変更して、日中の散歩の時間を確保し実践する。その時の利用者の変化を記録する	12ヶ月
3	54	日中居室で過ごす利用者が少なく居室が馴染みのものがない居室があるので家族に協力を得て居心地の良い空間作りをする。	居室が居心地よく本人の馴染みの中ですごすことが出来るようになる。	家族に説明をし、本人が使っていたものなどを持ち込んでもらい夜間過ごすだけの部屋でも本人が安心できる空間作りをする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月